

2022年UWW（国際連盟）ルール改正について

審判委員会

UWW（国際連盟）は2022年1月25日付で以下のルール改正を行った。開始日は1月25日付としている。日本レスリング協会審判委員会はスムーズに移行するために周知徹底を図っていきたいと考えます。（審判講習会等で）

（改正点）

1. **レフリーデリゲート（競技会の審判長・副審判長）の介入を認める。（第26条）**

* 審判団がこのような（例：時計系の得点やコーションの表示ミス・スタンドポジションかパーテレポジションでの再開のミス・勝者宣言のミスなど）重大なミスに気づかなかつた場合。

レフリーデリゲートが介入しコンソルテーションやVTRによって修正を求める事が出来る。

2. **チャレンジについて（第31条）**

* スコアボードにポイントが表示された後、5秒間、またはレスラーがニュートラルポジションになった後、5秒間にチャレンジができます。

3. **FSのアクティビティータイム中の得点変更。（38条）**

* アクティビティーレスラーが得点しても、アクティビティータイムは継続、30秒間に失点しなければ終了時に1点を獲得できる。

4. **フォールに関して（第42条）**

* デンジャーポジションで相手にコントロールされているレスラーが、明らかな怪我や理由無くマットを叩いたり叫んだりしても、レフリーは試合を止めずにマットチャマンに確認しフォールを取る。

5. **U-15・U-17・ベテラン（FS）のパッシブの変更（第46条）**

* 口頭注意はしないでダイレクトにアクティビティータイムを与える。

6. 技術回避・場外逃避の評価（ポイントの変更）について(第 48・49 条)

*技術回避（全てのスタイル）

スタンド ○+1 点 （再スタートスタンド）

グラウンド ○+1 点 （再スタートパーテレ）

*場外逃避（全てのスタイル）

スタンド ○+1 点

・テイクダウンの場合は 2 点追加、再スタートはパーテレ

・ノーテイクダウンの場合は 1 点追加、再スタートはスタンド

パーテレ ○+1 点 再スタートはパーテレ（従来通り）

デンジャー ○+2 点 再スタートはパーテレ（従来通り）

7. 組み合わせについて（第 12 条）

トーナメント表の「予備選」は下部ブロックに集中していたが、上部ブロック・下部ブロックにバランス良く配置される。

UWW サイト 参照 [United World Wrestling → Governance → Regulation](#)

